大豆緊急情報

令和２年８月９日

上越農業普及指導センター

異常高温に向けた大豆の管理について

◎8月10日～14日から、35℃以上の異常高温が予想されています。土壌乾燥による干ばつ害を防ぎましょう。
◎現在は開花が終わり、着莢が始まっています。幼莢が落莢しないよう、なるべくほ場水分を確保しましょう。

高温時のほ場管理について　※子実肥大期までは注意する

干ばつによる根へのストレスは、莢数や粒数の減少、しわ粒、莢先熟等の発生要因となる。特に初作ほ場では、干ばつの影響を受けやすい状態にあるため注意する。

１　本暗きょが施工されているほ場

開花期以降は、基本的に暗きょを閉じ、土壌水分を適切に保つ。

ただし、降雨等により地下水位が急激に上昇する場合は速やかに暗きょ栓を開放する。

２　うね間かん水実施のめやす

周囲明きょが整備済で、１日以内に地表水の排出が可能な排水条件が整ったほ場では、次により周囲明きょを活用したうね間かん水の実施が可能である。

時期：開花期以降に１週間程度降雨のない日が続き、大豆の上位葉が反転するようになった頃。

方法：ほ場に水が行き渡ったら水尻、暗きょ栓を開け、速やかに排水する。

※水口付近に長く水がたまると根腐れを引き起こしたり、立枯れ性病害の発生を助長するので注意してください。

お問合せ　上越農業普及指導センター作物担当　TEL:025-526-9406　FAX:025-526-4080